

会議要録

会議の名称	酒田コミュニケーションポート（仮称）整備検討委員会（第1回）
開催日時	平成29年8月28日（月） 午後1時30分 ～ 午後3時10分
場 所	市役所本庁舎3階 第一委員会室
出席者	<p>○出席委員 矢口 明子 委員（委員長）、片桐 晃子 委員、久木原 満 委員、佐藤 晶子 委員、佐藤 真美 委員、齋藤 潤弥 委員、高橋 利春 委員、田代 典子 委員</p> <p>○欠席委員 小田島 健男 委員（副委員長）、中原 浩子 委員、平尾 清 委員</p> <p>○事務局 阿部企画振興部長、菅原教育部長、阿部都市デザイン課長、岸谷図書館長、田中観光振興課長補佐（都市デザイン課） 本間主査、土井主査、齋藤調整主任、高橋主任、相馬主任、今井主事</p> <p>○基本計画策定支援業務委託者（株式会社図書館総合研究所） 野田取締役、松田主任研究員、鐘ヶ江研究員</p> <p>○再開発事業者（光の湊株式会社） 平澤課長、渡部事業担当</p> <p>○基本設計担当事業者（株式会社アール・アイ・エー） 村山部長、増見副参事、有木主任、池田副参事</p> <p>○傍聴者 市民0名、マスコミ7社</p>
	<p>1 開 会（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員の交替が1名あるので紹介する。（齋藤潤弥委員紹介） 本日は基本設計案について提示するので、忌憚のない意見をお願いしたい。 <p>2 議 事</p> <p>(1) 酒田駅周辺整備事業（酒田コミュニケーションポート（仮称））の基本設計（案）の概要について（資料1、資料1-2及び追加資料に基づき事務局説明）</p> <p>委 員</p> <ul style="list-style-type: none"> 2階に上がる階段の絵があったが、車椅子対応はできているか。赤ちゃんを抱っこしたお母さんや高齢者含め、弱者への対応はどうなっているか。 BDS ゲートについて、ホテル側には無いようだったが、無くてよいか。 今後の光丘文庫の扱いをどのように考えているか。企画展示をするとのことだが、貴重なものを明るいところに展示してよいか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅側の入り口は、駅利用者、観光情報センター利用者が多いと考えている。車で利用する方が多いと考えられ、駐車場からの動線にあるロビー側がメインの入り口になると考えており、そちらにエレベータを設置している。車椅子車両専用の駐車場も設けている。

- ・BDSについては、1階はホテルロビー側1つ、駅側の入り口に1つある。2階はバンケット側に1つある。
- ・光丘文庫については、現在中町庁舎に仮移転しており、改修する方向で検討している。貴重資料の紹介については、デジタル化した内容を紹介したりすることで光丘文庫の方へ誘導することを考えている。

委 員

- ・市道の付け替えという説明があったが、ここは歩行者だけなのか、それとも自転車等も通れるか。

事務局

- ・計画敷地内にある現在の市道は廃止し、集合住宅の裏側にある市道を拡幅することで、車両も対面通行できるよう整備する。

委 員

- ・ライブラリーセンターで防音にも十分配慮する、とあるが、子どもが小さい場合はかなり騒いだりすることが想定されるが、具体的にどのような対応をするのか。

事務局

- ・アンケート等で市民の声を聞くと、従来の図書館はしゃべったり音を出したりするのが憚られ、利用しづらい、という声があった。発想を変え、多少の会話や人の動きがあるような空間にしていきたいと考えている。静かであれば困るという方には、2階に静寂閲覧室を設け、そちらを使わせていただく。もちろん、大声を出していいということではないので、騒いでいる子どもがいたら注意するなどのルール作りを今後行っていく。

委 員

- ・今の市立図書館は、事務室が狭い。働くスタッフやボランティアの居場所などについて、どのように考えているか。

事務局

- ・今の図書館事務室は3階にあり、1階のカウンターと離れているが、新しい施設では事務室とカウンターを近くにして機能的にする。スペース的にも働く側の希望を出し、配慮している。ボランティアの方の部屋も計画している。

委 員

- ・こういったことができる施設なんだという情報発信や、できあがったあとのモニタリングなどチェックする体制を今後、考えていかなければならない。運営する人だけでなく、外部の意見を入れながらやっていった方がよいと思う。

事務局

- ・市だけではなく、利用される市民の方も関わられるような運営形態については、今後実施計画の中で反映していきたい。

委 員

- ・「酒田コミュニケーションポート（仮称）整備基本計画」の101ページ、市民アンケートの回答のところに「1階は浸水区域であり、図書館には不向き」という意見の人がいたが、市ではどう考えているか。

事務局

- ・事業地は津波の浸水区域ではなく、大雨の時に新井田川や最上川があふれた場合に一部浸水するエリアの中にあるということである。閉架書庫は2階にして貴重書は浸水から守れるようにしている。また、災害時の一時避難場所としての機能も持たせる予定である。

委 員

- ・酒田市の外から、ここに行ってみたい、そこで時間を過ごしてみたいと思わせる仕掛けをどのように展開するかが、今後大きなポイントになる。
- ・ホテルと図書館が連携しているのは、非常に面白い。ホテルの事業者は決まっているのか。また、

ホテルに泊まることによる特典はあるのか。

- ・バンケット等イベントスペースが何時まで使えるのか。その時間を超過した場合、駅前商店街との連携などにより酒田市全体への効果どのように考えているか。

事務局

- ・ホテル事業者については、現在も計画地にある事業者との調整を進めている。
- ・特典については、図書館が隣接しているので、宿泊客が図書館の資料を自由に見たり、貸出を受けたりなどの連携ができるか検討している。
- ・開館時間は、ライブラリーセンターについては現在の 19 時までから 21 時までに延長する。勤め帰りの人が利用しやすいようになり、駅前に来る機会も増えると考えている。
- ・酒田の情報発信をここで行っていくことにより、様々な波及効果が市内全体に及んでいくことを期待しており、今後も様々なご意見をいただきたい。

委員

- ・立派な施設ができたあとの、経営が大事と思うが、展望はあるか。

事務局

- ・事業者には、事業性も踏まえた上での提案をもらっている。今後も市と民間で協力しながら、採算性を取りながら進めていけるようにしたい。

委員

- ・高校生の通学形態を見ていると、駅利用よりも保護者の通勤に合わせて車で来ている実態がある。送り迎えの車の駐車場所について、工夫できるとよい。
- ・今後人口が減っていく中で、駅の利用自体が減っていく。駅利用者だけでなく、それ以外から人を呼び込むような魅力的な企画が必要である。各地域のコミュニティセンターでやっているような企画をここに集めるなど、発想を変えると活気ある場になるのではないかと。

委員長

- ・これまでの図書館利用者だけではなく方にも利用していただきたい、ということはずっと念頭にあるので、あらためて確認しておきたい。

事務局

- ・保護者の送り迎えについては、今後の課題として検討する。
- ・駅利用者だけではなく、他からも来ていただけるような魅力的な企画は重要であり、今後も検討していく。

事務局

- ・図書館としても企画コーナーを充実していく。美術館との連携や、子育て支援など地域課題、観光情報発信、コンサート等、様々な事例を参考に、図書館の魅力をアップしていきたい。

委員

- ・ボランティアのスペースがあるなど、今までと違って様々な方が関われる空間があるのがよい。学生の意見を聞くなど、幅広く意見を取り入れているのも素晴らしい。

委員

- ・当初の案では駅側に広場があり、人が歩いているところを車で走るのは不安だったが、広場が移ったので安心した。
- ・高校生の送り迎えについては、やはり別に車が止められるスペースがあるとよい。
- ・カフェがあると高校生は行きたがる。図書館に足を運ぶきっかけになると思う。
- ・早朝や夜行バスを利用する人が待てるスペースはあるのか。

事務局

- ・車寄せの件は検討課題とする。
- ・カフェは読書とも馴染むものであり、良いものを作っていきたい。
- ・バス待ちについても今後具体的に検討していく。

委員

- ・酒田モシエノ大学など、今も若い人が集まっている企画を参考にするとよいのではないか。本好きの若者に人気のある作家の講演を開館企画でやるなど、今から日程調整してはどうか。

委員

- ・ホテルのコンセプトが非常に重要である。単なるビジネスホテルになってほしくない。ライブラリーホテルのような、ここにしかないコンセプトを持ったホテルになると、まずこのホテルに行ってみたいという動きが出てくる。一人旅をする若い女性が増えており、ゆっくり本を読みながら滞在できることを売りにするのもいいと思う。

委員

- ・2階のラーニングcommonsを使う時は、予約が必要か。

事務局

- ・基本的にはオープンなスペースを想定しているが、運用については3階のスペースも合わせ、今後検討していく。

委員

- ・ホワイトボードなどがあると、近所の自治会や子ども会の集まりなどにも使えると思う。

委員

- ・学校図書館との連携について、具体的に考えはあるか。

事務局

- ・「調べ学習」について、夏休みの課題として取り組むなど図書館のイベントという形で始め、具体的な連携については、小学校長会、中学校長会等と相談しながら取り組んでいきたい。

委員

- ・首都圏には「BUNDANコーヒー&ビア」(日本近代文学館内)というような店があり、村上春樹の作品に出てくる朝食が食べられるなどしているところがある。参考になるのではないか。

委員長

- ・今まで利用していただけなかった方にも「ぜひ来たい」と思っていただけの施設になるよう、これからも皆さまのアイデアをいただきながら進めていきたい。

(2) 今後のスケジュール（市民等意見の集約）について（資料2に基づき事務局説明）

委員

- ・説明会について、事前・直前・当日と3段階くらいで案内をフェイスブックに出してほしい。
- ・パネル展示は駅や高校にも協力してもらえないのか。

事務局

- ・フェイスブックについてはそのように発信していきたい。
- ・パネル展示について、駅には確認したい。高校は、特定の学校だけというのは難しい。情報発信についてはホームページにも出すなど目に触れる機会を増やしていきたい。

(3) 酒田駅前まちづくりシンポジウム（仮称）の開催について（資料3に基づき事務局説明）

- ・質疑なし

(4) その他（次回以降の開催予定について資料4に基づき事務局説明）

- ・質疑なし

4 閉会